



産業建設常任委員会
井口 智晴

町観光振興の中で 「観光のまちづくり」推進事業等の 予算化について

質問

町長は遊休地を活用した産業振興と若者の定住対策を挙げている。これを進めるにあたって、どのような方法、どのような人達、どのような進め方等考えておられるのか具体的にお答え頂きたい。

町長答弁

遊休地と言うとノリタ跡地を思い浮かべるが、そこは現在汚染物質の調査を行っている、近々その結果も出る。夏場のスキー場を使い山菜やそばの栽培等も考えたい。3月26日に地域振興局が山菜の栽培研究会を開き、栽培技術の講習や、管理方法を講習することになっている。又住居環境の整備のため、分譲地の販売方法を再検討したいと考えている。

質問

観光振興の中で「観光のまちづくり」推進事業（エリア補助金）等の予算化についての考えはないか。

町長答弁

確かエリア別補助金については一定の成果も上がり自主運営出来るようになったので、17

年度で終了した。18年度からは、（湯沢町観光立町推進事業補助金）として観光関連業者だけでなく、商工会、町内会まで卒を広げて事業展開を行い、今後も続けていきたいと考えている。また前段の様に自分達が先頭に立って頑張る人たちには支援をしてゆきたいと思っている。

質問

農林業の振興の中で町長は地産地消運動の推進を挙げております。町長は最初から地産地消でなく地産地消と言っておられます。地元で生産されたものを地元で消費するという考え方でなく、使い易い、使いたくなるものを生産するという考え方で行きたいと言っておられました。私も大変良い発想と思っておりますが未だにその展開が見えてこない。昨年末に旅館組合と生産者で行った「越後湯沢産コシヒカリ新米キャンペーン」もそれなりに評価も得られました。が、これも地産地消であって本来の意味での地産地消になっていない。今後この展開をどのように持って行きたいのかを伺いたい。

町長答弁

湯沢産コシヒカリキャンペーンは引続き行う事に成りましたし、先に述べた夏場のスキー場利用の山菜や津南ポーク、雪下人參、アスパラ等生産者と使用者との連携を図り、使いたいものを生産するという運動を推進してゆきたい。

質問

国道整備促進の中で芝原トンネルの改修要望を言っておりますが、同トンネルは老朽化も激しく、八木沢トンネルの手前が急カーブとなっている為事故も



芝原トンネルの建設について
今後の要望活動展開は

多いと聞いております。早急な改修が必要と思うが町長の考えを伺いたい。

町長答弁

新芝原トンネルを含めた国道17号線の改良は、北陸地方整備局への要望項目の一つでもある。又長岡国道事務所へトンネルを含め17号線の一連区間にトンネルの老朽化対策、急勾配や防災上の危険箇所の対策に対応する為の調査を、15年度から継続して実施している。近々結果が出る予定である。その結果を見て町でも早期に実現できるよう努力してゆきたい。

代表質問